

# 令和3年度 事業報告書

---

社会福祉法人 平和の聖母

# 1 法人理念および基本方針

## 法人理念

かけがえのない尊厳ある人が集い、共に安らかに暮らし、共に学び成長し、共に働き喜び、聖母マリアのようにカトリックの愛の精神に根ざした社会福祉の開花を目指します。

## 基本方針

1. 私たちは、一人ひとりの可能性と持てる力に応じた暮らしを支援し、家庭生活と社会生活のあらゆる面への参画に共にチャレンジします。
2. 私たちは、人と人との交わりや助け合いを通して、自己と他者が共に成長していく社会福祉の仕事に誇りを持ち、感謝します。
3. 私たちは、より効果的で人道的な経営を探求し、地域福祉を展開することで、広く共通善に貢献します。

## 平和の聖母の祈り

わたしたち法人の名前をいただいた平和の聖母  
人と人との平和を目指し  
わたしたちがつねに  
苦しむ方々、悲しむ方々、社会的に弱い立場の方々に心を合わせ  
平和のために奉仕することができますように  
また、わたしたち自身も  
弱さのうちに生きる者であり、平和の聖母のご保護のうちに  
歩み続けていくことができますように

## 2 令和3年度事業報告における総括

2019年末から始まった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行は世界中で変異を繰り返し、日本国内においては第6波となり、感染症の全国的な拡大が久留米市近郊にも訪れることになった。本法人は感染者を一人も出さないことを目標として取り組んだが、1月に職員1名の感染が、障がい者支援施設において初めて判明した。久留米市内でも急激に感染者が増加していた時期であり、久留米市保健所も手が回らない中、聖マリア病院の感染症チームがスクリーニングをし、濃厚接触者を割り出す協力をしてくれた。その際、自宅待機者が一斉に増えることになったが、幸いにしてその一人以外に感染者は発生せず、クラスターになるような事態は避けることが出来た。その後も高齢者施設で同居家族から職員が感染するケースがあったが、施設利用者には感染が広がらず、年間を通じて3名の職員だけで済んだことは評価できる。しかし、同居する家族が感染すると必然的に濃厚接触者になり自宅待機というルールの中では、社会福祉施設に勤務するエッセンシャルワーカーであっても一定期間拘束されてしまうという状況を今後も想定しておく必要があり、これから義務化される感染症BCPの策定と訓練が大切になってくる。一方、働く職員に対しては、働き方改革における同一労働・同一賃金を進め、定年を迎えた、または高齢の契約社員であっても正職員と同じように各種手当や同額の賞与を支給する仕組みを作った。新政権が誕生し、国の方針として介護職員処遇改善支援補助金および福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金が創設されたことと、あわせて既存の処遇改善加算と特定処遇改善加算を利用して処遇改善を進めた結果、職員の定着率が大きく向上した。健康である限り長く働くことが出来る組織作りに一歩前進できた年であった。以上を踏まえ令和3年度事業報告とする。

## 3 令和3年度事業報告における重点項目

### （1）新型コロナウイルスによるクラスター発生防止とBCPの策定

障がい者支援施設ウエルフェアマリア、ケアハウスメゾンマリア、グループホームメゾンマリアなど本法人が経営する入所施設では、年間を通じて新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生することはなかった。今年度の3名の感染者は全て職員であり、自宅など施設外での感染であったと思われる。久留米市内や福岡県内の新型コロナウイルス感染状況を毎日Twitterで広く周知し、朝礼や会議を通じて、法人内スタッフの感染症に対する意識を高めることで、感染拡大を最小限に抑えることが出来たと思う。また、これまで自然災害（大規模地震）を想定したBCPはあったが、2024年度までには自然災害に加え、感染症BCP策定が介護保険事業と障がい福祉サービス事業で義務付けられたことから、これからも発生するであろう今回の新型コロナウイルスに類似した感染症を想定しておく必要がある。BCPは随時見直しが必要であり、完成形がないと言われていることから、日々行う業務の中に訓練と合わせて見直していく。

### （2）働き方改革関連法への対応

働き方改革改革関連法の改正により、同一労働・同一賃金の原則に沿って、定年を迎えた再雇用契約の職員ら契約職員についても、正職員と同じように各種手当・賞与を支給する仕組みを整えた。結果として人件費が前年比で大きく増額することになったが、働き手不在の時代と言われる中、中途退職者も減り、年間を通じて安定した人員の確保が出来た。訪問介護員は待機時間や移動時間であっても勤務時間になるように雇用契約を見直し、障がい者雇用を含めたパートタイマーについても責任の重責を勘案し、正職員と同様の回数で賞与を支給した。結果として、法人全体で安定した福祉人材が確保でき、派遣職員に頼ることなく、事業運営を続けていることは評価が出来る。

### （3）新たな施設整備と地域貢献事業の展開

令和3年度から5年度までの3年間を第8期計画期間とした、久留米市第8期高齢者福祉計画および介護保険事業計画では、依然として待機者数の多い介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）29床と、今後増加が予想される認知症高齢者に対応するため認知症対応型共同生活介護（グループホーム）18床が整備計画に基づき公募された。今期計画では、建築コストの上昇が止まらないことと、福祉職員の確保が難しいことから応募した法人も少なかったと感じる。本法人は土地の取得が進まず、今計画では応募を見送ることになった。第9期計画は令和6年度から8年度期間で計画されることになるが、事前に土地の取得と設計計画までを終えておきたい。高齢者と子ども達がふれあうメゾンマリアキッズクラブをはじめとする地域貢献事業は新型コロナウイルスの感染状況を鑑み中断を継続することになった。

#### (4) 虐待を未然に防ぐための取り組みの強化

虐待を未然に防ぐための取り組みとして、支援施設における虐待防止のための対策を検討する委員会を定期的に開催するとともに、その結果について従業者へ周知徹底を図るように運営規程上に明記することで、職員間の意識を高めることにした。しかし、残念ながら今年度も障がい者支援施設において接遇面での苦情が発生しており、大いに反省すべき点がある。言葉遣いをはじめとする接遇マナーの向上への取り組みを出来るまで続けていかなければならないと痛感した。基本は尊厳ある人間同士が言葉使いを丁寧に礼節をもって支援にあたる、という取り組みを継続することに大きな意味があると考え。何度も繰り返し伝えることで、認知症や障がいのある方々に対しても丁寧に接することを心がけていく。

## 4 各事業における重点項目

### (1) 障がい者支援施設ウェルフェアマリア

令和3年度は新型コロナウイルス（COVID-19）感染症のまん延防止に細心の注意を払いながらの事業運営であった。結果として施設利用者からは通所も含めて感染者が出ることはなかったが、職員1名の感染にあわせて一度に8名の濃厚接触者疑いが出たことで通所事業を休止する等の措置を取ることになった。常日頃からドアノブや手すり等の施設設備を次亜塩素酸ナトリウム希釈液による拭き掃除を続ける等の感染対策を怠らなかつたことが、施設内での感染症に対する意識向上に繋がったとして一定の評価が出来る。また、感染防止対策のために自由な外出が制限された利用者の活動支援策として、大型テレビによる映画鑑賞や飲食を楽しむイベントを増やして開催するなど、施設内での活動の充実を図ったことで、満足度調査において「活動と生活全般」の項目で昨年度に比べ良い結果を得ることが出来た。しかしながら地域との関わりが積極的に行えず、希薄になりがちなのは次年度以降の課題である。

健康面では、高齢化による機能低下、基礎疾患の重篤化、合併症の併発等の理由から、医療的ケア支援や病院の受診が増加し続けているが、介護ロボット等導入支援事業を活用した眠りスキャンの増設や、食事形態や栄養補助食品など個々の状態に応じた、楽しく美味しい食事を提供できるような支援に取り組み、嚥下機能低下や褥瘡の予防に取り組んだ。また、職員のスキルアップとして、オンラインを活用した研修を積極的に活用し、多く職員が研修に参加し、実務者研修受講支援の結果として3名の介護福祉士合格者が出た。気管切開をされた入所者に24時間の喀痰吸引ケアを行うために16名の職員が喀痰吸引等第3号研修の資格を取得するなど、コロナ禍の中で出来るかぎりの質の向上に努めた。

#### ウェルフェアマリア施設入所 延べ利用者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人数	13,862	14,157	14,207	14,188	14,455

#### ウェルフェアマリア短期入所 延べ利用者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人数	343	411	207	375	285

#### ウェルフェアマリア生活介護 延べ利用者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人数	13,593	13,615	13,100	13,414	13,429

#### ウェルフェアマリア施設入所 平均年齢

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
男（歳）	60.0	62.0	62.7	63.2	64.2
女（歳）	56.0	62.2	63.2	61.1	59.3

#### ウェルフェアマリア通所 平均年齢

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
男（歳）	46.0	46.0	49.1	50.2	50.1
女（歳）	42.6	43.9	45.9	46.3	40.6

#### ウェルフェアマリア特定相談支援 利用者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画（人）	47	65	82	52	49
モニタリング（人）	50	46	71	80	77

#### ウェルフェアマリア施設入所 サービス活動収益

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額（円）	85,223,935	91,444,683	91,162,495	92,810,779	97,811,623

#### ウェルフェアマリア生活介護 サービス活動収益

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額（円）	141,555,026	146,301,365	142,924,409	148,729,427	150,482,176

ウェルフェアマリア特定相談支援 サービス活動収益

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	1,307,250	1,927,510	2,140,180	1,820,210	1,739,080

ウェルフェアマリア 拠点区分人件費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	109,651,158	113,131,747	118,348,951	125,172,571	135,061,557

ウェルフェアマリア 拠点区分事業費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	24,713,693	24,624,740	23,101,150	23,837,920	25,362,455

ウェルフェアマリア 拠点区分事務費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	32,602,183	32,680,694	34,679,578	32,567,341	33,263,496

就労支援事業収益

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	17,627,870	18,354,495	16,568,369	13,575,153	16,858,818

(2) ケアハウスメゾンマリア

満室での運営維持に向け、待機者への意向確認と積極的な外部発信を推進したことで、突発的な入退居にもスムーズに対応でき、合わせて待機者確保にも繋がった。二人部屋の待機数は依然少数だが、問い合わせは増加傾向にある。また、懸念事項である設備の修繕関係では、予想以上に頻度が多くなり収支状況にも影響した。その中で、計画的に対応し入居者への影響を最小限に留めながら、今後予測される部分についてはその費用等の情報収集を進めた。

日常生活面では、前年度と同様に新型コロナウイルスの影響を受け、イベント関係は自粛としたが、感染状況を見ながら不定期で外出行事等を一部再開した。新たな試みとして、オンラインを活用した交流会や動画の視聴等を実施し、一定の評価が得られた。地域貢献活動も同様に通常開催できない中、地域の高齢者向けサロンのみ、会場へ出向く形式で数回実施した。

ケアハウスメゾンマリア 初日利用者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人数	600	600	600	600	600

ケアハウスメゾンマリア施設入所 平均年齢

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
男(歳)	84.1	84.1	87.2	88.5	86.1
女(歳)	84.9	84.9	84.7	84.2	84.7

ケアハウスメゾンマリア サービス活動収益

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	90,726,800	91,265,797	90,187,986	90,982,594	90,051,170

ケアハウスメゾンマリア サービス区分人件費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	26,574,778	28,089,827	25,871,982	25,323,996	24,705,573

ケアハウスメゾンマリア サービス区分事業費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	22,271,560	21,608,571	20,597,882	20,274,779	20,346,092

ケアハウスメゾンマリア サービス区分事務費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	23,064,242	30,149,241	29,036,577	29,534,361	34,339,891

(3) デイサービスセンターメゾンマリア

事業実績については年間を通して振るわず、収支状況も近年で最低ラインを割り込んだ。要因としては新型コロナウイルスによる利用控えもあるが、最たるものとして、営業活動が不十分であったことが挙げられる。それを受け下半期より強化したが、短期間では相応の実績に至らなかった。そのため継続はもとより、次年度に向けて事業所の特徴を見出すこと、それを対外的に発信する手法についても検討を重ね実践することとした。

サービス面では、満足度向上を目的に簡易的なアンケートを実施し、そこで得た意向を積極的に取り入れた。しかし、単発的であったこと、対象者が限定されていたことが課題として挙げられた。感染症関連では、事業の形態上発生リスクが比較的高いため、予防対策を徹底し利用者へも協力を仰ぐことで、事業所全体で取り組むことができた。また、状況は流動的であるため、振り返りの頻度を増やしたことで、様々なケースにも臨機応変に対応することができた。

デイサービスセンターメゾンマリア 延べ利用者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人数	7,122	6,369	6,369	7,353	7,200

デイサービスセンターメゾンマリア 平均年齢

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
男(歳)	79.0	83.8	83.3	84.9	82.6
女(歳)	85.4	85.1	85.6	85.6	85.1

デイサービスセンターメゾンマリア サービス活動収益

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	56,718,966	50,296,281	58,760,399	58,861,440	56,940,116

デイサービスセンターメゾンマリア サービス区分人件費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	32,994,660	32,785,649	34,799,112	39,318,087	41,080,635

デイサービスセンターメゾンマリア サービス区分事業費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	8,697,518	8,234,853	7,667,550	7,979,240	8,333,866

デイサービスセンターメゾンマリア サービス区分事務費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	4,288,616	4,574,964	4,762,332	4,530,364	4,241,135

(4) メゾンマリアホームヘルプサービス(訪問介護・障がい福祉サービス)

サービス提供責任者の配置数が減少したが、訪問体制の見直しと効率化を推進することで、その影響を受けることなくサービスを維持することができた。また、月次実績への目標意識を高め事業所全体で共有することで、事業実績は前年比大幅に改善することができた。ただし、人員そのものは充足しておらず、突発的な欠員への対応は引き続き苦慮している。そのため、訪問介護員の補充、サービス提供責任者の稼働状況、受け入れるサービスの選別化の徹底等の必要性が高まった一年でもあった。

収支状況が改善した一方、事業所全体のスキルアップが図れたとは言えない。利用ニーズが増える中、その内容も多様化しているため、各々のスキルアップが求められる。また、専用ソフトを活用した記録管理を進め効率化を図ったが、既存の機能では全てを網羅できなかった。そのため、更なる効率化に向けたソフトの導入等の必要項目について、具体的に検討することとした。

メゾンマリアホームヘルプサービスのべ利用者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人数	4,693	3,980	3,797	3,604	3,729

メゾンマリアホームヘルプサービス 平均年齢

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
男(歳)	79.2	76.1	77.4	81.4	81.2
女(歳)	88.5	83.2	84.7	85.7	86.4

メゾンマリアホームヘルプサービス(障がい)のべ利用者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人数	1,004	657	424	777	775

メゾンマリアホームヘルプサービス(移動支援)のべ利用者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人数	34	48	41	17	45

メゾンマリアホームヘルプサービス サービス活動収益

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	14,566,160	12,055,656	10,999,641	11,575,153	11,321,317

メゾンマリアホームヘルプサービス(障がい)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	3,848,320	2,733,540	2,289,800	5,659,540	6,193,020

メゾンマリアホームヘルプサービス サービス区分人件費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	15,664,737	13,109,991	11,575,053	13,016,158	12,333,159

メゾンマリアホームヘルプサービス サービス区分事務費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	2,705,794	2,623,143	2,007,328	2,198,775	1,771,951

### (5) メゾンマリアケアサポート

利用者数が増加する中、計画的に新規獲得を進めたことで前年比増収となった。ただし、事業の総収入は上限に近く、収支の不安定さは継続しているため、利用者の意向を汲みながら併設事業への紹介率アップを並行して図った。また、地域包括支援センターや医療機関からの紹介件数が増加傾向であり、その関係性からスムーズな情報交換が可能となっている。それにより、利用者自身のサービスの選択肢が拡充し、在宅復帰への心身的な負担軽減に繋がった。

報酬改定での新たな基準については、情報収集によって適切に対応できた。特に説明・同意を要するものについては、担当の枠を越えて協働化したため、実務者各々のケースと現状を相互理解できる機会となった。また、拠点内でのスキルアップに向けた職員研修では、ケアマネジメントに関する内容を重点的に実施した。多くの職員が避けがちな項目でもあるため、当事業のケースをもとに実践に繋がるよう指導した。これらのことは、主任介護支援専門員としての役割の体現にも繋がった。

#### メゾンマリアケアサポート 利用者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人数	751	774	802	851	893

#### メゾンマリアケアサポート サービス活動収益

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	7,256,520	7,886,680	8,024,590	8,912,620	9,693,470

#### メゾンマリアケアサポート サービス区分人件費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	10,238,972	10,429,593	10,867,039	11,445,893	11,840,292

#### メゾンマリアケアサポート サービス区分事務費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	415,538	260,562	359,314	277,869	264,271

### (6) グループホームメゾンマリア

年間を通して安定した稼働状況となり事業実績も増加した。待機者については定期的に連絡を取り、入退居に係る空室日数を最小限に抑えることができた。合わせて、待機者数が鈍化したのを受け、外部への情報提供の機会を増やした。サービス面では、制限中においても入居者と家族の関わりを重視した活動を積極的に取り入れた。ただし、個々の心身状態によって頻度や内容に偏りがあり、満足度についても具体的に把握できていないことは一つの課題となった。また、職員の技術面では看取りや緊急時・認知症に関する内部研修を重点的に実施した。

地域交流においては頻度が減少しているが、状況を見て運営推進会議や地域包括支援センターとのおしゃべり会、オンラインを活用した保育園との交流の場を持つことができた。5回目を迎えた外部評価では、一定の評価を得ることができたが、家族アンケートにおいては満足度が高いと言えない項目もあったため、事業所全体で共有し改善に向けて取り組んだ。

#### グループホームメゾンマリア 利用者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人数	216	215	214	215	216

#### グループホームメゾンマリア サービス活動収益

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	81,518,730	81,631,438	83,113,840	84,958,217	86,803,487

#### グループホームメゾンマリア サービス区分人件費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	53,901,441	54,615,083	56,886,790	63,713,212	61,412,493

#### グループホームメゾンマリア サービス区分事業費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	10,272,959	10,012,339	9,785,115	10,409,788	10,885,838

#### グループホームメゾンマリア サービス区分事務費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額(円)	3,823,458	4,084,749	4,087,802	3,929,949	3,879,389

## 4 法人運営

### (1) 理事会の開催

実施月	議案等	出席者
6月10日	第1号議案 令和2年度事業報告（議決数／過半数） 第2号議案 令和2年度監事監査報告および決算（議決数／過半数） 第3号議案 令和3年度第一次補正予算（議決数／3分の2以上） 第4号議案 令和3年度定時議員会の日時・場所及び議題等（議決数／過半数） 第5号議案 評議員選任・解任委員会設置及び運営細則（議決数／過半数） 第6号議案 評議員選任候補者の推薦（議決数／過半数） 第7号議案 任期満了に伴う理事・監事候補者の推薦（議決数／過半数）	理事6 監事2
6月25日	第1号議案 理事長の職務の執行状況報告（令和3年3月～令和3年6月）（報告事項） 第2号議案 理事長の選定（議決数／過半数）	理事6 監事2
11月18日	第1号議案 理事長の職務の執行状況報告（令和3年6月～令和3年11月）（報告事項） 第2号議案 令和3年度第二次補正予算（議決数／3分の2以上） 第3号議案 規程の制定および改正（議決数／過半数） 第4号議案 令和3年度第1回臨時議員会の日時・場所及び議題等（議決数／過半数） 第5号議案 平田牧男監事辞任に伴う新監事候補者の推薦（議決数／過半数）	理事5 監事2
3月17日	第1号議案 理事長の職務執行状況報告（報告事項） 第2号議案 令和3年度第三次補正予算（議決数／3分の2以上） 第3号議案 令和4年度事業計画（議決数／3分の2以上） 第4号議案 令和4年度予算（議決数／3分の2以上） 第5号議案 規則等の改正（議決数／過半数） 第6号議案 令和3年度第二回臨時議員会の日時・場所及び議題等（議決数／過半数）	理事5 監事1

### (2) 評議員会の開催

実施月	議案等	出席者
6月25日	第1号議案 令和2年度事業報告（報告事項） 第2号議案 令和2年度監事監査報告および決算（議決数／過半数） 第3号議案 令和3年度第一次補正予算（議決数／過半数） 第4号議案 任期満了に伴う理事・監事の選任（議決数／過半数）	評議員7 理事2 監事2
11月26日	第1号議案 令和3年度第二次補正予算（議決数／過半数） 第2号議案 平田牧男監事辞任に伴う新監事の選任（議決数／過半数）	評議員7 理事2 監事2
3月25日	第1号議案 令和3年度第三次補正予算（議決数／過半数） 第2号議案 令和4年度事業計画（議決数／過半数） 第3号議案 令和4年度予算（議決数／過半数）	評議員7 理事2 監事2

### (3) 監事監査

実施月	内容	開催地	出席者
6月2日	令和2年度決算に係る監事監査	法人本部	監事

### (4) 評議員選任・解任委員会

実施月	内容	開催地	出席者
6月18日	評議員選任・解任委員会	メゾンマリア+Zoom	監事・外部委員

### (5) 苦情解決第三者委員会報告会

実施月	内容	開催地	出席者
8月23日	苦情解決に関する第三者委員会報告会	メゾンマリア+Zoom	第三者委員

### (6) 法人運営管理委員会

実施月	内容	開催地	出席者
毎月	法人運営管理委員会	メゾンマリア	運営管理委員

(7) 法人事務

日時	内 容	場 所	応 対 者
6月28日	財務諸表公表制度書類アップロード	オンライン	事務局長
6月28日	資産総額変更登記	福岡法務局	事務局長
6月29日	福祉医療機構事業報告	オンライン	事務局長
7月4日	高齢者及び障がい者雇用状況報告	ハローワーク	事務局長
7月5日	理事長変更登記	福岡法務局	事務局長
7月7日	公益法人等の損益計算書等の提出	久留米税務署	事務局長
7月20日	令和3年度集団指導受講 (youtube)	久留米市	施設長
7月8日	社会福祉法人役職員研修会	オンライン	施設長
7月30日	処遇改善加算実績報告提出	久留米市	施設長
7月30日	障害福祉サービス等情報公表の提出	オンライン	事務局長
8月20日	労働災害防止対策等説明会	オンライン	施設長
1月11日	給与支払報告書提出	各市町村	事務局長
1月11日	給与所得の源泉徴収票等の法定調書提出	久留米税務署	事務局長

5 経営指標

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
サービス活動収益	482,032,591	485,136,680	489,218,440	504,866,368	510,769,507
サービス活動増減差額	53,756,200	46,108,966	53,005,189	51,411,239	38,063,145
経常収益	498,341,114	488,361,610	492,956,985	509,973,520	519,614,610
経常増減差額	68,559,066	48,021,250	55,624,094	55,591,757	46,257,185
人件費	249,025,746	252,161,890	258,348,927	277,989,917	286,433,709
事業費	65,955,730	64,480,503	61,151,697	62,501,727	64,928,251
事務費	66,430,191	74,089,023	74,550,686	72,798,919	77,557,953
減価償却費	61,447,761	61,872,291	52,954,987	45,671,753	47,824,654
国庫補助金等取崩額	△ 32,477,331	△ 32,253,291	△ 25,910,037	△ 20,155,170	△ 20,012,614
支払利息	1,505,657	1,312,646	1,110,640	926,634	651,063
事業活動資金収支差額	97,387,746	78,986,031	80,091,763	84,082,953	75,630,184
資産総額	1,421,639,885	1,435,455,617	1,465,169,668	1,503,041,254	1,529,285,808
社会福祉充実残額	△ 302,510,000	△ 272,270,000	△ 233,830,000	△ 221,040,000	△ 209,600,000
厨房労務委託費	32,127,840	34,201,440	37,206,120	39,454,800	40,774,800
消費税納税額	481,600	521,300	551,300	479,100	566,500
障がい者雇用率	2.99%	3.23%	4.65%	8.21%	3.79%

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	全国平均 (2020年度)		
人件費率	%	51.7%	52.0%	52.8%	55.1%	56.1%	67.3%	○
(人件費+厨房委託費)率	%	58.3%	59.0%	60.4%	62.9%	64.1%		○
経費率	%	27.5%	28.6%	27.7%	26.8%	27.9%	23.8%	×
事業費率	%	13.7%	13.3%	12.5%	12.4%	12.7%	13.3%	○
事務費率	%	13.8%	15.3%	15.2%	14.4%	15.2%	10.4%	×
減価償却費率	%	6.0%	6.1%	5.5%	5.1%	5.4%	4.7%	×
サービス活動収益対増減差額比率	%	11.2%	9.5%	10.8%	10.2%	7.5%	3.1%	○
経常収益対増減差額比率	%	13.8%	9.8%	11.3%	10.9%	8.9%	3.3%	○